

2017年3月期 第3四半期決算の概要

2017年2月9日

IBJ
LEASING **興銀リース株式会社**

本資料には現時点で入手している情報に基づき当社が判断した将来の予測数値が含まれておりますが、一定のリスクや不確実性が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。将来に関する事項については様々な要因により変動することがございますので、ご留意下さい。

● 連結損益

■ 売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、第3四半期累計で過去最高の実績

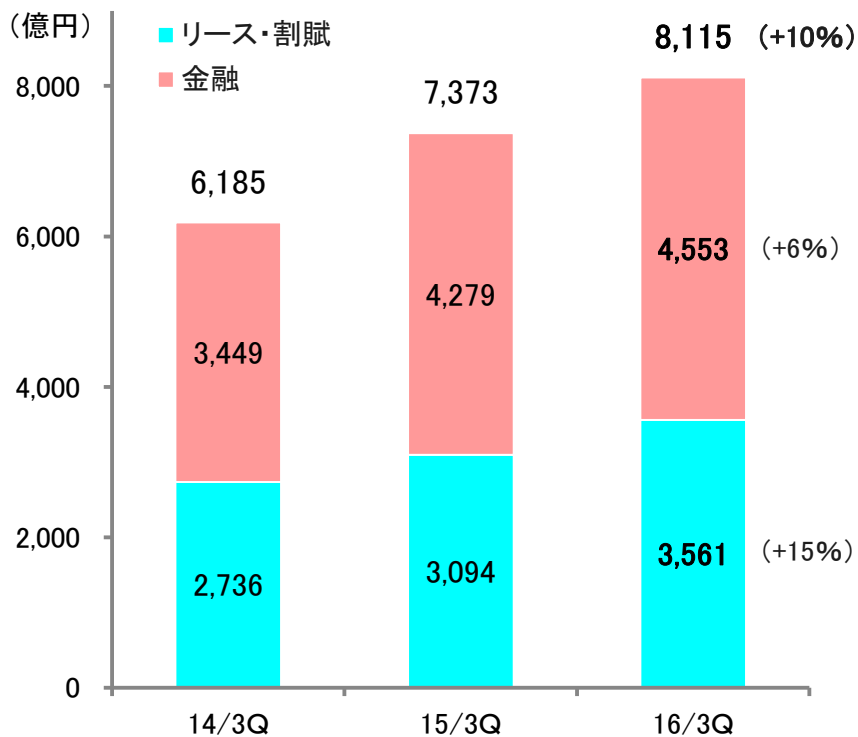
- －差引利益は、グループ会社売却による減少^{*}を打ち返してほぼ横ばい
- －資金原価の低減、信用コストの戻入が貢献

*2016年4月に連結子会社である東芝医用ファイナンス(株)の全株式を譲渡。

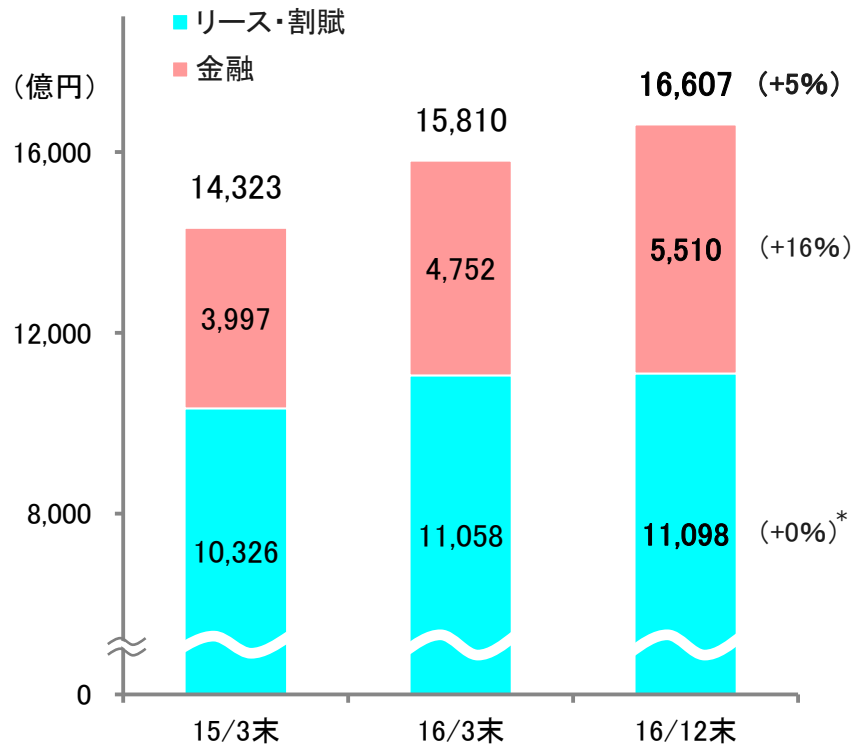
連結P/L (億円)	14年度 3Q	15年度 3Q①	16年度 3Q②	増減額 ②-①	増減率 ②/①	通期予想 <進捗率>
売上高	2,551	2,543	2,846	+303	+12%	<81%> 3,500
差引利益	310	333	327	▲6	▲2%	—
(資金原価)	(47)	(48)	(40)	(▲8)	(▲16%)	—
売上総利益	263	285	287	+2	+1%	—
営業利益	128	133	150	+17	+13%	<83%> 180
経常利益	134	137	155	+18	+13%	<83%> 187
(信用コスト)	(▲7)	(8)	(▲7)	(▲15)	(-)	—
(償却前経常利益)	(127)	(145)	(148)	(+3)	(+2%)	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	83	91	105	+14	+15%	<87%> 120

■ 契約実行高は前年同期比10%増加し、営業資産残高は前年度末比5%増加

契約実行高



営業資産残高



*グループ会社売却による残高減少を打ち返し

● リース・割賦の状況

- 契約実行高は「不動産リース」、「輸送用機器」の伸びにより前年同期比15%増加
 - － 「不動産リース」は、REIT向けブリッジ案件の取り扱いが大きく増加
 - － 「輸送用機器」は、航空機オペレーティングリース^{*}案件の実行が寄与

*2016年2月に航空機オペレーティングリース専門子会社を設立

機種別契約実行高

(億円)	14年度 3Q	15年度 3Q	16年度 3Q	増減額	(率)
産業・工作機械	596	776	753	▲23	(▲3%)
情報通信機器	453	582	527	▲55	(▲10%)
輸送用機器	318	334	399	+65	(+20%)
土木建設機械	421	293	256	▲37	(▲13%)
医療機器	178	197	96	▲101	(▲52%)
商業・サービス業用機器	261	268	210	▲58	(▲22%)
事務用機器	76	76	76	▲0	(▲1%)
その他	433	568	1,246	+678	(+120%)
内、不動産リース	258	392	1,067	+675	(+172%)
合計	2,736	3,094	3,561	+467	(+15%)

● 金融分野の状況

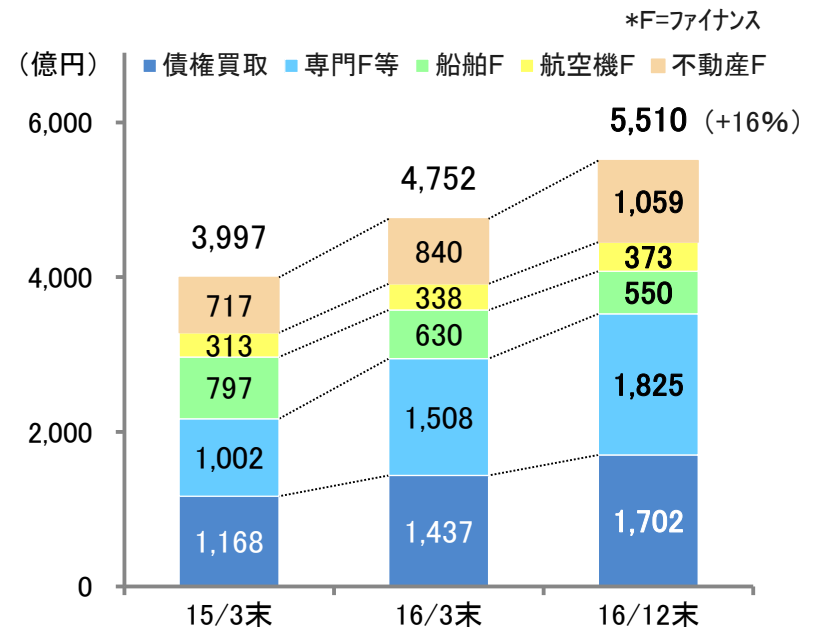
- 契約実行高は前年同期比6%増加し、営業資産残高は前年度末比16%増加
 - 「不動産ファイナンス」は、REIT向けブリッジ案件が増加^{*}
 - 「航空機ファイナンス」、「専門ファイナンス等」はリスク・リターンを勘案し、案件を選別して取り組み

*実質REIT向けのブリッジリースであるが、契約形態によりファイナンス（金融）に区分されるもの

契約実行高

(億円)	14年度3Q	15年度3Q	16年度3Q	増減額	(率)
不動産ファイナンス	114	369	668	+299	(+81%)
航空機ファイナンス	149	163	83	▲80	(▲49%)
船舶ファイナンス	93	88	71	▲17	(▲19%)
専門ファイナンス等	322	653	504	▲149	(▲23%)
債権買取	2,770	3,006	3,228	+222	(+7%)
合計	3,449	4,279	4,553	+274	(+6%)

営業資産残高



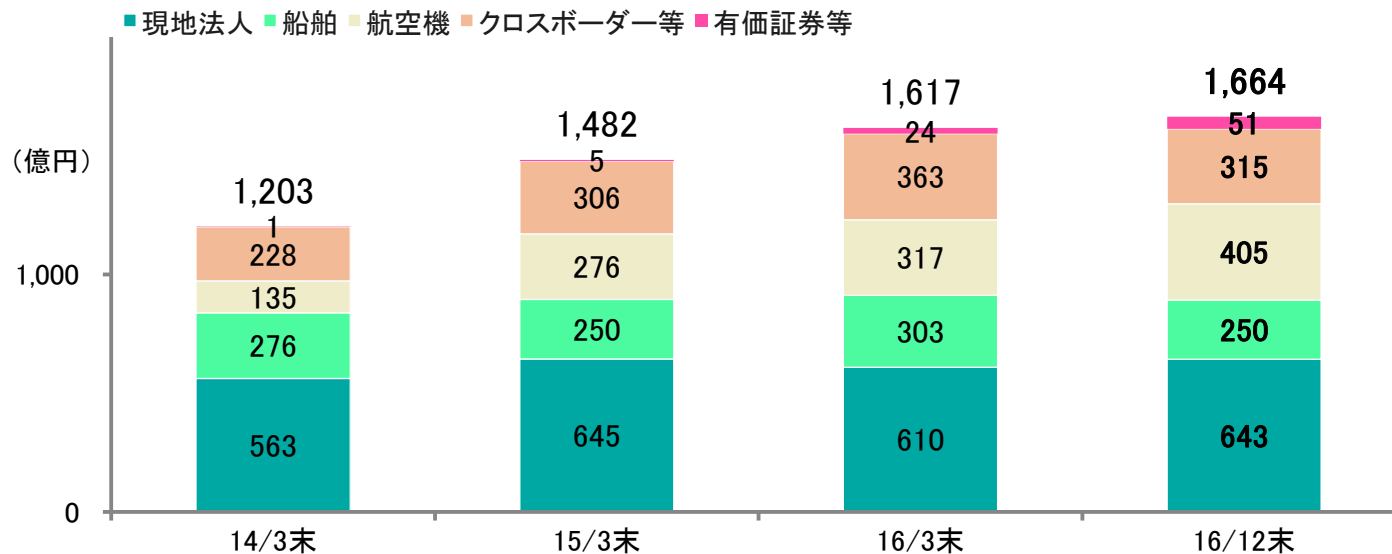
● 海外ビジネスの状況

- 従来からの取り組みに加え新たな施策の実行により、営業資産残高は前年度末比増加
 - ー航空機オペレーティングリースが順調に進捗し、第3四半期までに4機実行*
 - ー非日系企業への取り組み拡大
 - タイにおけるオートリース事業への本格参入
 - インドネシアでのインフラ・資源開発会社向けリース案件の取り組み等

*4機中2機は10月及び12月に実行
 子会社決算期との3ヶ月の月ずれがあるため、10月及び12月実行分の連結決算への反映は第4四半期を予定

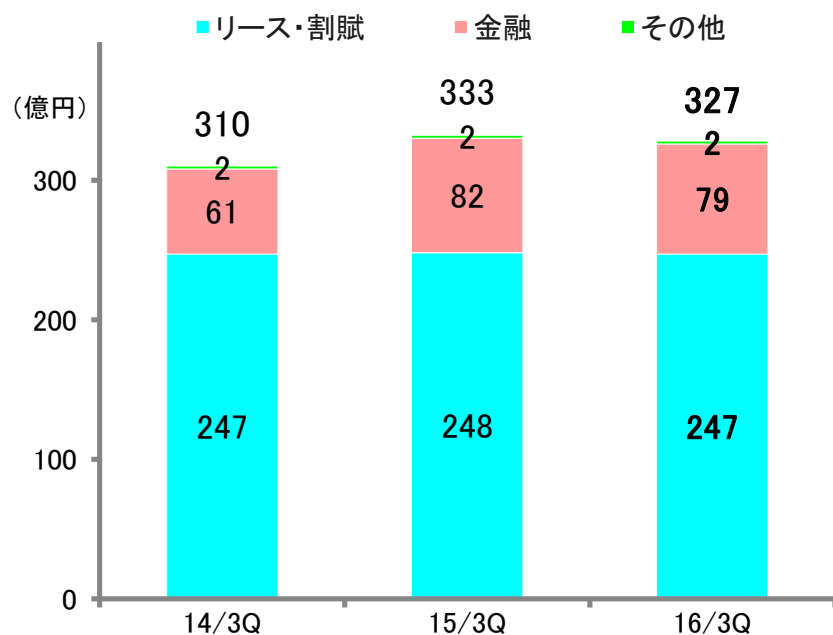
海外関連アセットの営業資産残高

※16/12末時点の為替レートで評価



■ 契約実行高の順調な伸長による営業資産の積み上げにより、差引利益は前年同期比でほぼ横ばい
 —グループ会社売却による差引利益の減少を打ち返し

差 引 利 益



運 用 利 回 り

	15年度 3Q	16年度 3Q	増減
差 引 利 益 率	2.97%	2.73%	▲0.24pt
資 金 原 価 率	0.43%	0.34%	▲0.09pt
売 上 総 利 益 率	2.54%	2.40%	▲0.14pt
営 業 資 産 (平均残高、億円)	14,942	15,977	+1,035

(注) 各率は年換算値

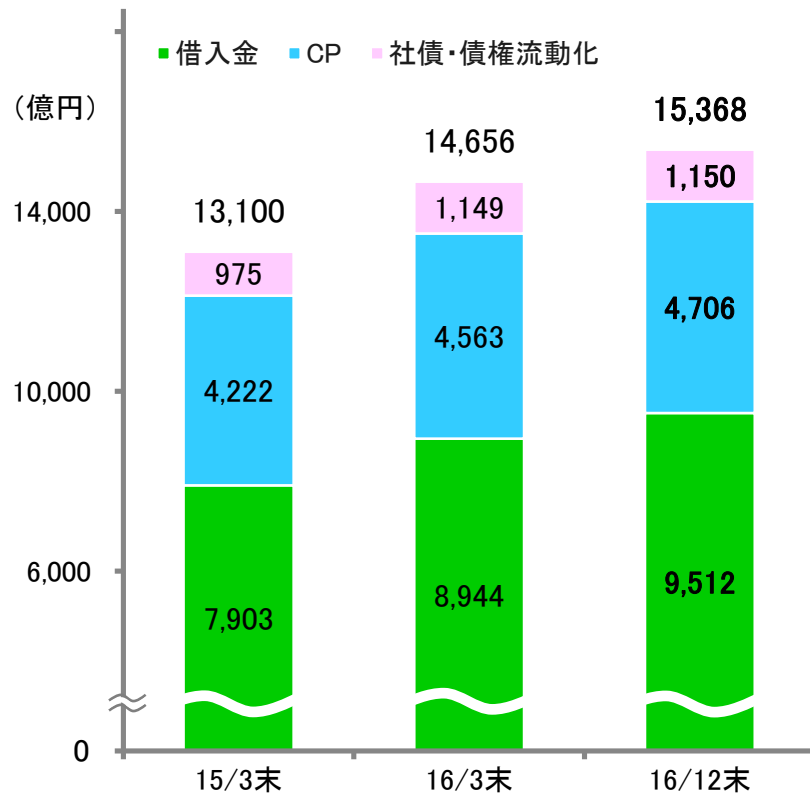
差引利益率 = 差引利益 ÷ 営業資産(平均残高)

資金原価率 = 資金原価 ÷ 営業資産(平均残高)

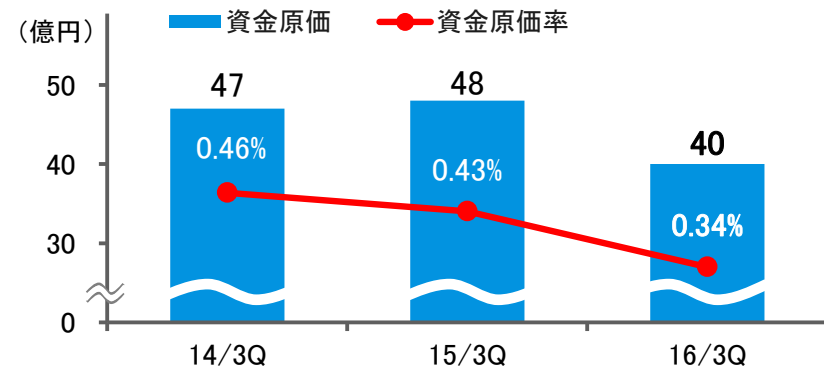
売上総利益率 = 売上総利益 ÷ 営業資産(平均残高)

■ 有利子負債残高は増加するも、良好な資金調達環境もあり資金原価は低減

有利子負債残高



資金原価 (率)



(注) 資金原価率 = 資金原価 (年換算値) ÷ 営業資産 (平均残高)

純資産・自己資本比率

(億円)	15/3末	16/3末	16/12末
純資産	1,233	1,328	1,375
自己資本比率	7.6%	7.4%	7.5%

● 業績予想及び配当

- 親会社株主に帰属する当期純利益は、年度の利益計画に対して進捗率87%
- 2016年度の年間配当金は、前年度比2円増加の62円と15期連続増配予定

(億円)	2015年度 (実績) ①	2016年度 (予想) ②		増減額 ②-①	増減率 ②/①	
		3Q実績	進捗率			
売上高	3,642	3,500	2,846	81%	▲142	▲4%
営業利益	176	180	150	83%	+4	+2%
経常利益	186	187	155	83%	+1	+1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	116	120	105	87%	+4	+3%

年間配当金	60円	62円	+2円
中間配当金	30円	30円	±0円
期末配当金	30円	(予定) 32円	+2円

配当性向	22.0%	22.0%
------	-------	-------